

作成日： 2001 年 9 月 14 日

改訂日： 2023 年 5 月 8 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： **フォトピア アクアライトインキ ブルー AQ-T**
供給者の会社名称： 株式会社 松井色素化学工業所
住所： 〒607-8345 京都市山科区西野離宮町 29 番地
担当部門： 技術開発部
電話番号： 075-595-5533
メールアドレス： msc_information@msc-color.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類：
物理化学的危険性 区分に該当しない、もしくはデータ不足により分類できない。
健康に対する有害性 区分に該当しない、もしくはデータ不足により分類できない。
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期（急性）： 区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 該当しない。
危険有害性情報： 水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き：
[予防策]
・環境への放出を避けること。
[対応]
・流出物を回収すること。
[廃棄]
・内容物、容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： 感光変色性マイクロカプセル含有水性インク

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS 番号
樹脂	<40%	非開示
感光性色素	<5%	非開示
水及びその他の成分	残	—

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合： 製品に触れた部分を水又はぬるま湯を流しながら洗浄する。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 水で口の中をよく洗浄する。可能であれば吐き出させる。

必要に応じて医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 本品は水性混合物であるため通常は燃焼しない。

使ってはならない消火剤： 情報なし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業者は必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、長靴等を着用する。

環境に対する注意事項： 流出した製品が河川や湖沼へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

大量に公共水域に流入した場合は、消防署、保健所等に直ちに連絡する。

排水系、河川又は海上へ漏出した場合は、海洋生物や鳥類への悪影響が考えられるため、全量回収に努める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて空容器に回収した後、残りをウエス、ぞうきん等でよく拭き取る。

大量の場合は、盛り土、毛布、土嚢等で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 皮膚・粘膜に触れたり目に入ったりしないように、保護手袋、保護眼鏡等、必要に応じて保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 屋内で使用する場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが好ましい。
- 安全取扱い注意事項： 特になし。

保管

- 適切な保管条件： 凍結、直射日光を避け、屋内で密閉して保管する。
- 安全な容器包装材料： 水不浸透性の容器包装材料を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策： 屋内で使用する場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが好ましい。
- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度： 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具： 換気が不十分な場合は、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器などを着用する。
- 手の保護具： ゴム手袋、樹脂製手袋
- 目の保護具： 普通眼鏡型保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて長袖作業着、長靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： ペースト
- 色： 有色（感光可逆変色性を示す）
- 臭い： 微臭
- 融点： 情報なし
- 沸点： 情報なし
- 可燃性： 情報なし
- 爆発下限及び爆発上限界/可燃限界： 情報なし
- 引火点： 情報なし
- 自然発火点： 情報なし
- 分解温度： 情報なし
- pH 9.0 – 10.0
- 動粘性率： 情報なし
- 溶解度： 水に任意に分散する

n-オクタノール/水分配係数：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び/又は相対密度：	1.03 ± 0.05 g/cm ³
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学的安定性：	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性：	特になし。
避けるべき条件：	特になし。
混触危険物質：	特になし。
危険有害な分解生成物：	特になし。

11. 有害性情報

急性毒性：	LD50>5,000 mg/kg (計算データ)
皮膚腐食性/刺激性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
生殖細胞変異原性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
発がん性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
生殖毒性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
誤えん有害性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
局所効果：	長時間皮膚に付着したままにしておいたり、皮膚の敏感な人に対しては、まれにかぶれをおこす場合がある。

12. 環境影響情報

生態毒性：	魚毒性：LC ₅₀ > 5,000 mg/kg (計算データ) 水生生物に毒性がある。 長期継続的影響により水生生物に毒性がある。
残留性・分解性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
生体蓄積性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
土壌中の移動性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
オゾン層への有害性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	製品は水分を含有しているため、おがくず等に混ぜて焼却炉で少量ずつ焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って行うか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制：	
海上規制情報：	IMOの規定に従う。
航空規制情報：	ICAO、IATAの規定に従う。
国連番号：	3082
国連品名：	環境有害物質（液体
国連分類：	クラス9（有害性物質）
容器等級：	Ⅲ
国内規制：	
海上規制情報：	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報：	航空法の規定に従う。
安全対策及び条件：	輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。 輸送中は保護具を携帯する。 車両等により運搬する場合は、荷受人に運送注意書やイエローカードを携帯させる。
応急措置指針番号：	171

15. 適用法令

消防法：	
（第2条 危険物）	該当しない。
毒物及び劇物取扱法：	
（第2条 毒物）	該当しない。
（第2条 劇物）	該当しない。
（第2条 特定毒物）	該当しない。
労働安全衛生法：	
（第57条 表示物質）	該当しない。
（第57条の2 通知物質）	該当しない。
（有機溶剤中毒予防規則）	該当しない。
（特定化学物質等障害予防規則）	該当しない。

化学物質管理促進法：

- | | |
|---------------|--------|
| (特定第一種指定化学物質) | 該当しない。 |
| (第一種指定化学物質) | 該当しない。 |
| (第二種指定化学物質) | 該当しない。 |

化審法：

- | | |
|-------------|--------|
| (第一種特定化学物質) | 該当しない。 |
| (第二種特定化学物質) | 該当しない。 |

16. その他の情報

この安全データシートは、当社が現時点で入手できた情報及び知見に基づいて作成されたものであり、ここに記載されている危険予防策並びに手段、解釈がこれらのみに限定されるものではありません。これらの注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、製品の特殊な使用に関しては、当社はその責任を負いません。また、危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。